Creative Enzymes®

ネイティブ牛コレステロールエステラーゼ

Cat. No. NATE-0114

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	コレステロールエステラーゼ（CE）は、コレステロールや他のステロールの脂肪酸エステルを加水分解または合成できる可逆的な酵素です。水に不溶な長鎖脂肪酸エステルの加水分解には胆汁酸の活性化が必要です。水に溶解する短鎖脂肪酸エステルやリゾホスファチジルの加水分解には胆汁酸による活性化は必要ありません。また、トリ、ジ、モノアシルグリセロール、リン脂質、リゾホスファチジル、セラミドも加水分解します。この単量体糖タンパク質は、脂質およびリポタンパク質の代謝、さらには動脈硬化において複数の機能を持つ可能性があります。
用途	コレステロールエステラーゼは、ブラシボーダー膜の膜関連ヘパリンに結合し、コレステロールと遊離脂肪酸の膜を越えた輸送を助けます。この酵素は、臨床□□室で血清コレステロールの測定に広く使用されています。Creative Enzymesの酵素は、in vitro条件下でのカメリア・シネンシスの葉のメタノール抽出物の抑制および抗酸化機能を評価するために使用されました。この酵素はまた、ヒト血清サンプルを消化して7α-ヒドロキシコレステロールのアシルエステルの存在と位置を確認するためにも使用されました。
別名	コレステロールエステラーゼ; コレステリルエステル合成酵素; トリテルペノールエステラーゼ; コレステリルエステラーゼ; コレステリルエステル加水分解酵素; ステロールエステル加水分解酵素; コレステロールエステル加水分解酵素; コレステラーゼ; アシルコレステロールリパーゼ; EC 3.1.1.13; 9026-00-0; ステロールエステラーゼ; CE

製品情報

種	ウシ
由来	牛膵臓
形態	凍結乾燥粉末。この製品は牛膵臓から部分的に精製されており、30-65%のタンパク質（ビウレット）、リン酸カリウムを含むオフホワイトからタン色の凍結乾燥粉末として供給されます。
***EC**番号*	EC 3.1.1.13
***CAS**登□番号*	9026-00-0
活性	> 200 ユニット/g タンパク質
***pH**安定性*	42529
活性化因子	ビスフェノールAジグリシジルエーテル、cAMP依存性プロテインキナーゼタイプII、エタノール、メタノール、n-ブタノール、ホスファチジルコリン、ホスファチジルエタノールアミン、ナトリウムタウロコール酸
阻害剤	ビスフェノールAメタクリレート、ジイソプロピルフルオロリン酸、エノラーゼ、Hg2+、フッ化ナトリウム、ホスファチジン酸、ホスファチジルコリン、ホスファチジルセリン
単位定義	1ユニットは、タウロコール酸の存在下で、pH 7.0、37°Cで1分あたり1.0μモルのコレステリルオレエートをコレステロールとオレイン酸に加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C

保存方法	-20°C